馬飼養衛生管理に関する委員会･講習会を開催しました

馬の飼養衛生管理に必要な情報や知識の習得を図り、地域における馬自衛防疫体制を確立するため、令和8年10月28日（水）に、ミライ on 図書館（大村市）において、令和 8 年度衛生管理特別対策事業地方委員会及び講習会を開催しました。

委員会では、昨年度事業実績と今年度事業計画（案）について協議するとともに、飼養衛生やワクチン接種に係る資 or パンフレットを配布し、馬疾病の発生状況やワクチン接種の必要性などに関する情報提供を行いました。



講習会では、鹿児島大学での馬臨床実習へ参加された長崎県農業共済組合県南地区家畜診療所の長郷先生から伝達講習が行われたほか、日本中央競馬会馬事部の長島先生から「酷暑期の飼養衛生管理と遭遇する疾病予防対策」について講演が行われました。

長島先生の講演では、近年の気温上昇を背景に、夏の飼養管理や熱中症対策について説明がありました。馬は主に汗によって体の熱を逃し体温を調節していますが、その際に体に必要な電解質（塩類）も失われるため、夏場は十分な水分と電解質の補給が重要であることが説明されました。

また、馬の冷却方法については、冷水をかけて汗を取り除く作業を繰り返す従来の方法に加え、水道水を継続して大量にかける方法でも同等以上の効果が得られたという調査結果が紹介されました。

人手が限られている場合でも実践しやすい方法として、参加者からも関心が寄せられていました。



講演後には活発な質疑応答が行われ、講習会は盛況のうちに終了しました。